

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 青森県板柳町
本事業の担当部局名 教育委員会生涯学習課

事業メニュー	ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分	一般メニュー						
関連事業メニュー	1.1.1 結婚支援センターに関する取組						
個別事業名	板柳町ひろさき広域出愛サポートセンター運営事業					新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間	令和7年4月1日		～		令和8年3月31日		事業開始年度 平成29年度
総事業費(A)(円)	382,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0		差引額(A-B)(円) 382,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額	378,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	382,000	0	382,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	378,000	0	378,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	4,000	0	4,000
	○	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け	<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 板柳町においては、国の少子化対策集中取組期間(平成27年度～平成31年度)に合わせ、町としての少子化対策を『第2期「板柳町まち・ひと・しごと創生総合戦略」』として取りまとめ、結婚支援を含めた総合的な取組を始めたところである。 この中で、結婚支援については、平成29年の婚姻数が66件と、過去と比べて経年的に低下傾向と低い状況にあり(参考：令和5年婚姻数37件)、緊急的に対策を講じる必要がある。 <本個別事業の位置付け> 平成28年度に「弘前圏域定住自立圏形成協定」に「婚活支援の推進」の取組を追加し、圏域全体に婚活支援を展開することで、多様な出会いの場の創出、成婚の促進及び定住人口の増加を図ることとしています。 「板柳町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」における少子化対策支援として、すこやか出生祝い金事業・子育て支援事業・子育て支援事業・結婚活動支援事業などの各種施策を掲げ総合的に推進しています。本事業は、前述のうち、出会いのサポートを目的とした「結婚活動支援事業」に位置づけられます。					

	番号	項目	内容
個別事業の内容	1	ひろさき広域出愛サポートセンターの運営	弘前圏域定住自立圏構成市町村(弘前市、黒石市、平川市、藤崎町、板柳町、大鰐町、田舎館村、西目屋村)が連携し、1対1のお見合い支援を行うサポートセンターを設置しています。 基本的なマッチング方法は、会員が異性のプロフィール帳から会いたい相手を選び、センター事務局である出愛コーディネーター(弘前市会計年度任用職員)が相手にお見合いの申し出があった旨を連絡し、両者の同意が得られた場合にお見合いを実施するものです。特徴として、お見合いの際は冒頭の一定時間、出愛サポーター(住民ボランティア)が同席し二人の会話をサポートします。また、出愛サポーターは、会員と自身の知り合いの非会員とを引き合わせることができるため、より多くの出会いの場を提供することが可能となります。 利用対象:18～59歳までの結婚を希望する独身男女で、 弘前圏域在住または結婚後に弘前圏域に住む意思があること 利用料 :登録料、年会費無料(※お見合い時には、サポーターへ500円の支払いあり) 利用期間:2年間(※更新可能) 【取組内容】 ①お見合い支援の実施 ②会員、連携団体等の獲得に向けた周知 ・各市町村の広報誌、ホームページ、各種SNSを活用した情報発信を実施します。 ・ひろさき広域出愛サポートセンター公式SNS等を活用したターゲティング広告配信を実施します。 ・センターHPへ誘導する二次元コードを掲載したPRステッカーを作成し、圏域市町村内の民間企業の施設等に掲示し、更なるセンターの周知に取り組みます。(掲示場所はトイレ個室など他人の目が気にならない場所を想定) ③登録会及び平日夜間登録会の開催 ・センターの定休日である日曜日に、予約不要の会員登録会を開催し利便性の向上を図ります。 ・平日夜間の予約不要会員登録会の開催時間を見直し、土日勤務の方、休日に出かけることにハードルを感じる方が登録しやすい体制を整えます。 ④プロフィールカード相談会の開催 ・プロのカメラマンやヘアメイク、婚活を支援するサポーターのアドバイスを受けながら、プロフィールカードを作成する相談会を実施します。
	2		
	3		
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> ・平日夜間の予約不要会員登録会を開催しましたが、登録者の人数にばらつきがあったことから、開催時期・時間を見直し実施します。 ・男性限定のプロフィールカード相談会は、定員を上回る申込みがあったことから需要はあるものと考えておりますが、参加者が自分の長所・短所がわからない、問いかけをしても「なんとなく」と答えるなど、建設的なアドバイスが難しい方がいたことから、申込時に応募理由を記載していただくなどの見直しを図り、より効果的に実施します。		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.8 (R12年度)	0.94 (R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率		%	0.94 (R5年度)	
	婚姻件数		件	37 (R5年度)	
	婚姻率		%	3.0 (R5年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	センター新規会員登録者数	人	100 (令和7年度)	100 (令和6年度見込み)
	②	ターゲティング広告リーチ数	人	1,992,000 (令和7年度)	1,494,000 (令和6年度見込み)
	③	平日夜間登録会参加者数	人	6 (令和7年度)	6 (令和6年度)
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	82 (令和7年度)	81.9 (令和5年度)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	引き合わせ成立件数(=お見合い実施件数)	件	93 (令和7年度)	102 (令和6年度見込み)
	⑤	カップル成立件数(=お見合い後の連絡先交換件数)	件	50 (令和7年度)	42 (令和6年度見込み)
	⑥	成婚件数	件	7 (令和7年度)	2 (令和6年12月末現在)
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 青森県板柳町
本事業の担当部局名 教育委員会生涯学習課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業						
区分		重点メニュー						
関連事業メニュー		1.2.1 自治体間連携を伴うライフデザイン・結婚支援重点推進						
個別事業名		板柳町ひろさき広域婚活支援事業				新規／継続 (一般財源での実施も含む)	継続	
実施期間		令和7年4月1日 ～ 令和8年3月31日				事業開始年度	平成29年度	
総事業費(A)(円)		56,000		寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0	差引額(A-B)(円)	56,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		56,000						
費用内訳(円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費	
	総事業費	3,752	0	0	2,688	1,064	4,872	
	対象経費支出予定額	3,752	0	0	2,688	1,064	4,872	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計	
	総事業費	37,688	5,936	0	0	0	56,000	
	対象経費支出予定額	37,688	5,936	0	0	0	56,000	
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0	
	――	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。						
自治体における少子化対策の全体像及びその 中での本個別事業の位置付け		<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 板柳町においては、国の少子化対策集中取組期間(平成27年度～平成31年度)に合わせ、町としての少子化対策を『第2期「板柳町まち・ひと・しごと創生総合戦略」』として取りまとめ、結婚支援を含めた総合的な取組を始めたところである。この中で、結婚支援については、平成29年の婚姻数が66件と、過去と比べて経年的に低下傾向と低い状況にあり(参考：令和5年婚姻数37件)、緊急的に対策を講じる必要がある。 <本個別事業の位置付け> 平成28年度に「弘前圏域定住自立圏形成協定」に「婚活支援の推進」の取組を追加し、圏域全体に婚活支援を展開することで、多様な出会いの場の創出、成婚の促進及び定住人口の増加を図ることとしています。 「板柳町第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」における少子化対策支援として、すこやか出生祝い金事業・子育て支援事業・子育て支援事業・結婚活動支援事業などの各種施策を掲げ総合的に推進しています。本事業は、前述のうち、出会いのサポートを目的とした「結婚活動支援事業」に位置づけられます。						

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	イベントの実施	弘前圏域8市町村で組織する「弘前広域婚活支援事業実行委員会」において、結婚の希望を叶えられるよう、出会いの機会の場を提供するため、委託により次のとおり婚活イベントを開催します。 イベントの開催にあたって、ひろさき広域出愛サポートセンターの登録者への周知、参加を促すとともに、未登録者においても広報・SNS等において周知し、更なる出会いの場を創出します。 【取組内容】 ○体験型イベント(年2回) ・参加予定者数(定員):20~40人(男女各10~20人×2回) ・対象:おおむね18~59歳の独身者 ○周知・広報について ・チラシ配布、各自治体ホームページ、専用特設サイト、SNS(インスタグラム、エックス、フェイスブック、ラインなど)
	2	魅力アップセミナーの開催	弘前圏域8市町村で組織する「弘前広域婚活支援事業実行委員会」において、お見合い時のマナーや異性とのコミュニケーションの取り方・外見磨き等をテーマに、男女別で魅力アップセミナーを開催します。 セミナーの開催にあたって、ひろさき広域出愛サポートセンターの登録者への周知、参加を促すとともに、未登録者においても広報・SNS等において周知し、出会い・結婚への気運醸成を図ります。
	3		
	<過年度の本個別事業で浮かび上がった課題の分析及びそれに対する取組(ステップアップ)> 婚活イベントの参加者アンケートにおいて、「参加人数が多いイベント」、「年代に近いイベント」を求める声があることから、募集定員数・対象年齢を見直し開催することで出会いの機会・場の提供に繋がります。		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.8(R12年度)	0.94(R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率		%	0.94(R5年度)	
	婚姻件数		件	37(R5年度)	
	婚姻率		%	3.0(R5年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	参加者数	人	56(令和7年度)	33(令和6年度見込み)
	②	募集定員数に対する参加者数の割合	%	80(令和7年度)	68.7(令和6年度見込み)
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	55(令和7年度)	43.5(令和6年度見込み)
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	③	結婚・妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	—	—
	④	カップリング件数	件	13(令和7年度)	2(令和6年度)
	⑤				
	⑥				
	⑦				
	⑧				

(令和6年度補正分) 地域少子化対策重点推進交付金 実施計画書 (市町村分) 個票

自治体名 青森県板柳町
本事業の担当部局名 教育委員会生涯学習課

事業メニュー		ライフデザイン・結婚支援重点推進事業					
区分		一般メニュー					
関連事業メニュー		1.1.1 結婚支援センターに関する取組					
個別事業名		あおもり出会いサポートセンター運営事業				新規／継続 (一般財源での 実施も含む)	継続
実施期間		令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日				事業開始年度	令和4年度
総事業費(A)(円)		48,000	寄付金その他の収入予定額(B)(円)		0	差引額(A-B)(円)	48,000
対象経費支出予定額(円) ※補助率を乗じる前の額		48,000					
費用内訳 (円)	区分	諸謝金	賃金	報償費	旅費	需用費	役務費
	総事業費	0	0	0	0	0	0
	対象経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	区分	委託料	使用料及び賃借料	備品購入費	負担金	補助金	計
	総事業費	0	0	0	48,000	0	48,000
	対象経費支出予定額	0	0	0	48,000	0	48,000
	対象外経費支出予定額	0	0	0	0	0	0
	----	※上記対象経費支出予定額に本交付金の対象外となる経費は含まれていない。					
	自治体における少子化 対策の全体像及びその 中での本個別事業の位 置付け	<自治体における少子化対策の全体像>※全事業共通 板柳町においては、国の少子化対策集中取組期間(平成27年度～平成31年度)に合わせ、町としての少子化対策を『第2期「板柳町まち・ひと・しごと創生総合戦略」』として取りまとめ、結婚支援を含めた総合的な取組を始めたところである。 この中で、結婚支援については、平成29年の婚姻数が66件と、過去と比べて経年的に低下傾向と低い状況にあり(参考：令和5年婚姻数37件)、緊急的に対策を講じる必要がある。 <本個別事業の位置付け> 出会いの場の創出に大きな役割を果たすあおもり出会いサポートセンターの運営を行うもの。					

個別事業の内容	番号	項目	内容
	1	結婚支援センターの運営	会員が結婚の希望を叶えられるようにするため、結婚支援センターの運営として、以下の取組を行う。 ・土・日のいずれかを含む週5日以上開所し、対面、電話及びオンラインでの相談業務 ・マッチングシステムによる引き合わせ ・マッチングシステム本人確認等のための個別面談 ・会員数の増加及びセンター認知度向上のための周知広報（チラシ・HP・SNS等） ・会員数の増加及びセンター認知度向上や協賛団体等の増加のための企業訪問（年間50社） ・県・市町村及び関係団体等により構成する「青森県結婚応援ネットワーク会議」を開催し、未婚化・晩婚化の課題に対応するための情報共有や意見交換を実施する。専門家による結婚支援に関する講演や他県・県内の事例紹介等を行う。（2回程度）
	2		
	3		
	<過年度の本個別事業で浮き上がった課題の分析及びそれに対する取組（ステップアップ）> ・20～39歳までの本県独身者におけるセンターの認知度が低いことを受け、主に若年者を対象にしたSNS広告を実施する。 ・センター及びセンターが運用するマッチングシステムに対する不安の解消のため、安全な利用に向けたセミナーを開催する。		

少子化対策全体の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標 ※全事業共通	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	合計特殊出生率		%	1.8(R12年度)	0.94(R5年度)
参考指標 ※全事業共通	項目		単位	直近の実績値(時点)	
	合計特殊出生率		%	0.94(R5年度)	
	婚姻件数		件	37(R5年度)	
	婚姻率		%	3.0(R5年度)	
個別事業の重要業績評価指標(KPI)及び定量的成果目標	KPI項目		単位	目標値(時点)	現状値(時点)
	番号	項目			
	(アウトプット)				
	①	マッチングシステム新規利用登録数	人	3,000(R11年度)	881(R5年度)
	②				
	③				
	④				
	⑤				
	(アウトカム)				
	①	交付金事業に対する事業対象者(住民等)の満足度(該当事業に限る。)	%	---	---
	②	希望どおりの結婚に向けて後押ししてくれたと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	③	結婚、妊娠・出産、子育てに前向きになったと感じた人の割合(該当事業に限る。)	%	---	---
	④	マッチングシステムにより引き合わせが成立した人数	人	3,000(R11年度)	2,024(R5年度)
	⑤	あおもり出会いサポートセンター認知率	%	30.0(R11年度)	17.8(R5年度)
	⑥				
	⑦				
	⑧				